

# 焼却場候補地「二枚橋用地」では行き詰まる

2008年8月24日(日)  
日本共産党・板倉真也

小金井市は2017年度から国分寺市と共同でゴミ処理施設を稼働させる計画を建て、共同で使用する処理施設の建設場所の選定を、昨年6月に設置した「新焼却施設建設場所選定等市民検討委員会」に委ねた。「市民検討委員会」は1年間の協議の末に今年6月末、「二枚橋焼却場用地」を新たなゴミ処理施設の建設場所として答申したが、逆に反発が高まっている。

## 「二枚橋」一辺倒の小金井市の対応は問題

### ■「二枚橋」の土地は小金井市だけのものではない

半世紀にわたって市民のゴミを焼却していた二枚橋焼却場が昨年3月末で稼働を終え、昨年4月以降、国分寺市や西多摩衛生組合など8施設で焼却されています。国分寺市や西多摩衛生組合など8施設は、小金井市が来年2月までに新たなゴミ処理施設の建設場所を確定することを条件に小金井市民の燃やすゴミを受け入れており、建設場所の確定はまさに小金井市民の死活問題となっています。しかし、市民検討委員会が建設場所として答申した「二枚橋焼却場用地」は、小金井市と調布市、府中市の3つの市に土地がまたがっており、調布市と府中市の合意が必要となります。ところが小金井市は両市の了解を得ることもなく市民検討委員会で二枚橋焼却場用地をいの一の一番に建設場所として押し進める対応を行ない、新たな建設場所の候補地としてあがった都立公園内を「東京都がダメと言っている」と一蹴して、市民検討委員会の議論が「二枚橋焼却場用地」に向かうように仕向けました。

### ■小金井市の可燃ゴミを受け入れている自治体（2008年度契約量）

▷西多摩衛生組合（青梅、福生、羽村、瑞穂）	／ 4,800トン
▷柳泉園組合（東久留米、清瀬、西東京）	／ 450トン
▷小村大衛生組合（小平、武蔵村山、東大和）	／ 400トン
▷東村山市	／ 360トン
▷昭島市	／ 2,350トン
▷日野市	／ 2,350トン
▷国分寺市	／ 6,000トン
▷武蔵野市	／ 300トン

処理量合計 17,000トン  
処理委託経費 7億9,049万円  
(2008年度予算)

### ■調布市議会と調布市長は「二枚橋」への焼却施設建設に反対している

7月24日の二枚橋衛生組合の臨時議会では、小金井市の答申に対して「小金井市は市民検討委員会に対して、二枚橋を巡る過去の歴史的経過を説明しているのか。正確な説明がされていけば、このような答申にはならなかったはず」（調布市選出市議）、「二枚橋焼却場跡地をこのように清算するの話を話している最中に、このような結論が出たことはひどすぎる。稲葉市長が二枚橋跡地への一番の推進者だ。責任は重い」（府中市選出市議）との批判が相次ぎ、小金井市の対応への不信が述べられました。調布市は昨年3月の市議会で、二枚橋跡地の調布市所有地へのゴミ処理施設建設反対を全会一致で可決しており、調布市長も市議会の質疑で、ゴミ処理施設建設に反対の意思を示しています。

### ■二枚橋焼却場用地の面積

総面積	11,502㎡
小金井市地域	4,199㎡
調布市地域	5,307㎡
府中市地域	1,996㎡

### ■調布市・府中市との交渉は期限を定め、都立公園含む新たな場所の協議を東京都と行なうべき

小金井市は来年2月には、ゴミ処理施設の建設場所を確定することが求められています。市民検討委員会が答申した「二枚橋焼却場用地」が実現可能なかどうかの判断を早期に見極め、ダメな場合には次ぎなる場所をあたっていく取り組みが必要となります。そのためにも、調布市・府中市との交渉を期限を決めて行ない、都立公園内を含めて新たな場所の交渉をすすめていくことが必要です。

### ■「二枚橋」も「ジャンメ」も建設場所には不適地

小金井市は昨年6月の市民検討委員会発足時に、焼却施設の候補地として「二枚橋焼却場用地」と「ジャンメミニシ工場跡地」を諮問しました。しかし「二枚橋焼却場用地」は調布飛行場の離発着地の延長線上にあるため煙突の高さが60mまでしか認められず、しかも段丘下に位置するために、段丘上の東町や中町地域の住宅地に煙突から排出されるダイオキシン類や塵を降り注ぐ状況となっています。また、この間の都市化のなかで二枚橋周辺にも次々と住宅が建ち並ぶようになり、地理的にも環境上も焼却施設を設置するには不適地となっています。なによりも半世紀にわたって焼却場に苦しめられてきた地元住民にとっては、さらなる焼却場は耐えられるものではありません。地元住民が反発するのは当然です。

### ■二枚橋焼却場用地

- ▷調布飛行場の離発着延長線上
- ▷段丘の下
- ▷近隣に住宅地が続々進出
- ▷半世紀も焼却場被害を被った

### ■ジャンメミニシ跡地

- ▷マンションなど住宅密集地
- ▷交通渋滞や臭気問題が起きる

一方の「ジャンメミニシ工場跡地」は、小金井市のなかでも最大の人口密集地であり、マンションが建ち並ぶ市の中心地となっています。ここにゴミ処理施設がつくられると、毎日、小金井市と国分寺市のゴミが搬入されることになり、生ゴミの臭いや収集車による大気汚染、交通問題等が発生します。近隣住民が反対運動に立ち上がったのは当然です。この場所を候補地として諮問した小金井市の見識が疑われます。

### ■都立公園内には小金井市が所有権をもつ土地が1万㎡余ある

小金井市は都立公園内に、小金井市が所有権を持つ「赤道」が1万㎡以上あります。この「赤道」などを活用して東京都と交渉し、都立公園内を含む場所にゴミ処理施設の建設場所確保を押し進めることこそ、もっとも現実的な解決への道です。

そもそも、わずか1年で焼却場建設場所を決めろというのは無理。最終的な責任は、土壇場まで対策をとってこなかったこの間の保守市政および稲葉市長にある。市民検討委員会に責任を負わせるのは酷。